



青春の フォトスケッチ

高校写真部の生徒が
とらえた心に残る1枚

ゴール



作者のコメント

毎年恒例の校内持久走大会で撮影しました。みんな楽しそうに走り、笑顔でゴールする姿が印象的でした。



宇都宮商業高校
白井 由莉 さん

今、輝いてる市民

はっらつ宮っ子

見る人の視覚以外にも訴える絵を

油彩画家 片桐 剛さん



芸術分野での創造活動が際立っていて、今後の活躍が期待される若手芸術家に贈られる「宇都宮工スペール賞」。7年目を迎えた今回は、油彩画家の片桐剛さんがその栄誉に輝きました。片桐さんは、旧河内町で生まれ育ち、現在も活動の拠点を地元白沢町に置いています。子どものころから絵を描くことが得意なほうでしたが、画家を志すようになったのは、20歳を過ぎたから。自分はこれから何をして生きていこうかと考え抜いた上で、絵の道を選んだそうです。

「じっくり見て、じっくり描く」ことを大切に、「風景画なら行ってみたい・住んでみたい、静物画なら触ってみたいなど、見る人の視覚以外の部分にも訴える絵を描きたい」と語る片桐さん。そのために「もっと絵の勉強がしたい」と意欲的です。

5月末から、JR宇都宮駅東の「ギャラリー・イン・ザ・ブルー」で、文星芸術大学で学んだ仲間たちと展覧会を行うなど、発表活動も積極的。今後ますます素晴らしい作品が期待されます。



「スタンダードブルー」